

# 市議会だより さつて



幸手桜まつりにスペースアが幸手駅に停まりました

## 3月定例会のおもなことから

- ・平成30年度当初予算等 ..... 2～5ページ
- ・各常任委員会での審議 ..... 6～8ページ
- ・市政に対する一般質問 ..... 9～14ページ
- ・行政視察等報告、編集後記 ..... 15ページ
- ・議決結果の一覧 ..... 16ページ

No.86  
2018年  
5月

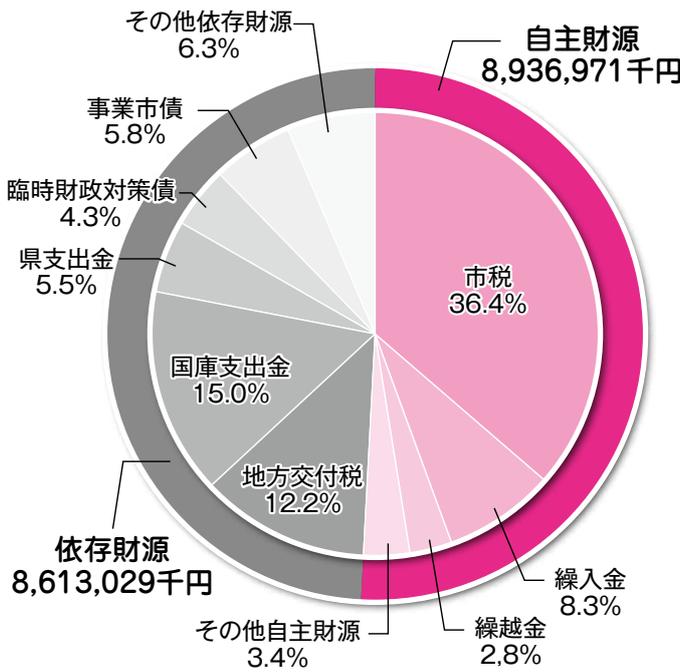
# 平成30年度 予算賛成多数で成立

## 一般会計 175億5千万円

### 一般会計

### 歳入構成

歳入内訳



### 歳入予算額構成比

(単位:千円)

区分	項目	予算額	割合
自主財源	市税	6,392,399	36.4%
	繰入金	1,451,137	8.3%
	繰越金	500,000	2.8%
	その他の自主財源	593,435	3.4%
依存財源	地方交付税	2,150,000	12.2%
	国庫支出金	2,635,456	15.0%
	県支出金	962,773	5.5%
	市臨時財政対策債	750,000	4.3%
	事業市債	1,016,800	5.8%
	その他依存財源	1,098,000	6.3%
合計		17,550,000	100%

### 歳入

歳入総額は前年度比8億9千万円(5.3%)増  
市税は前年度比1.1%増の63億9239万9千円

### 平成30年 3月定例会

平成30年3月定例会は2月21日から3月20日までの28日間の会期で開かれました。今定例会では、条例改正案18件、補正予算案8件、平成30年度一般会計予算など予算案8件、人事案1件、工事請負契約の変更1件、市議会委員会条例に関する会議案1件などが提出され、いずれも原案のとおり可決・同意しました。また、請願1件は採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

### 歳入

地方の景気回復等による雇用環境の改善、法人決算の好調、幸手中央地区産業団地の固定資産税増収等により、市税は増額の見込みとなっています。自主財源は基金からの繰入金13億6千万円を含み構成比50・9%、依存財源は構成比49・1%で、地方消費税交付金が前年度比1億2千万円の増額となるほか、市債は同比4億2980万円増の17億6680万円を発行予定です。

質疑

平成30年度幸手市  
一般会計予算質疑内容

歳入では、自主財源が前年度に比べ1.1%減って50・9%になり、逆に依存財源は1.1%増えて49・1%となっております。地方債の残

高は、平成23年度を境に増え続けているわけです。また、基金も毎年多額の繰り崩しがされております。そこで平成30年度末の基金残高をお尋ねいたします。

また、公債費も増えてきている状況で、以前のご答弁で「実質公債費比率も上がっていないから大丈夫である」というご答弁もあつ

たんですが、今後のことを考えたときに公債費の見直しはどのように見積もっていらっしゃるのかお尋ねいたします。

さらに、今後、公共施設の補修費ですとか、災害対策の費用等、多額の支出を控えているという現状の中で、将来的な財政の見直しについてお尋ねいたします。

基金は、地方財政法に基づいて設置が義務づけられております。財政調整基金を初めといたしまして合計7つの基金がございます。また、それぞれの基金について積み立ておよび処分についての条例に規定があるものです。

平成30年度末におきます基金の残高見込み額について順次申し上げます。財政調整基金が3億4269万9千円、減債基金が2億7803万9千円、公共施設整備基金が8887万8千円、地域福祉基金が2925万1千円、学校教

歳出

構成比では、民生費が36.2%を占め、土木費、教育費が続く  
主な事業は、民間保育園建設補助、駅舎・西口整備、小中学校トイレ改修など

性質別歳出内訳

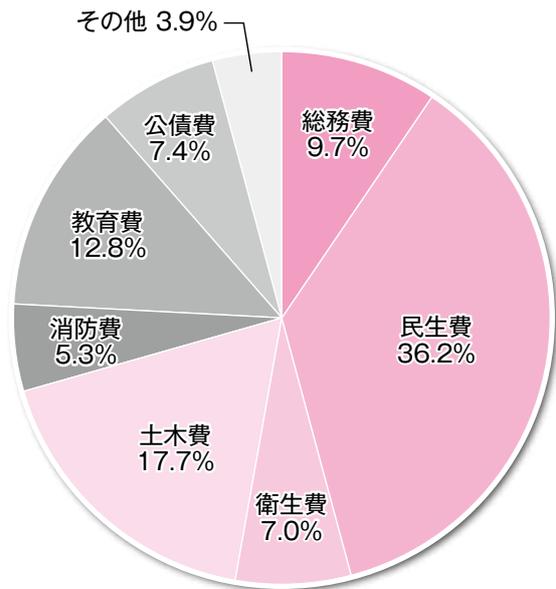
(単位:千円)

区分	予算額	小計(割合)	
義務的経費	人件費	2,804,773	7,921,329 (45.1%)
	扶助費	3,824,986	
	公債費	1,291,570	
投資的経費	普通建設事業	2,462,724	2,462,724 (14.0%)
その他経費	物件費	2,696,878	7,165,947 (40.9%)
	維持補修費	104,200	
	補助費等	1,843,237	
	繰出金	2,459,093	
	その他	62,539	
合計	17,550,000		

※繰出金とは一般会計から各特別会計等に繰出す支出

歳出構成

歳出款別予算額構成比



特別会計

特定の収入を特定の事業のために使う会計  
(水道事業を除く)

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	6,082,451千円
後期高齢者医療特別会計	601,636千円
介護保険特別会計	3,603,836千円
農業集落排水事業特別会計	29,075千円
公共下水道事業特別会計	1,027,095千円
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	988,024千円
合計	12,332,117千円

答弁

基金は、地方財政法に基づいて設置が義務づけられております。財政調整基金を初めといたしまして合計7つの基金がございます。また、それぞれの基金について積み立ておよび処分についての条例に規定があるものです。

育施設整備基金が1358万円、子育て応援基金が2187万3千円、土地開発基金が2598万円、その他利子積み立てといたしまして54万1千円を見込んで基金の残高合計は、8億30万円と見込んでいます。

公債費（年間返済額）については、平成17年度の22億1294万6千円が過去最大の数値となっています。その後、平成18年度に公債負担適正化計画を策定し、翌平成19年度に財政健全化計画を策定し、埼玉県内の市の平均値を目標に公債費の適正化に取り組んできたものです。当該計画期間中は義務教育施設校舎および屋内運動場耐震補強事業などの必要な事業に限り借り入れを行うこととし、新たな公債費を抑制することで平成25年度に目標を達成しました。今年度の公債費は12億9157万円となっており、昨年度と比較いたしました8829万5千円の増加となっています。災害対策については、今年度は倉松川流域のポンプ場増強の検討業務や大中小落、中落流域での浸水状況検証や対策の検討業務など計上しています。

**（議案第14号）  
幸手市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を可決**

**反対討論**

中村 孝子

公民館活性化策として、2年前に地区センターを併設し主幹級職員を全館に配置した。当条例の改正は、館長の若さや職員の年齢構成の問題を理由に、外部から退職学校長を迎え報酬を増額するものである。各館長は地域に溶け込み、活性化に努力していた。この間僅か2年であり、職員配置の計画性を疑う。若い職員には地域の中で研鑽を積み、力を発揮できるように育成すべきであり反対とする。

**賛成討論**

青木 章

市役所職員である館長を引き上げ、市内小中学校の校長を退職した人を館長にすること。報酬を月額19万2千円に改めることなど疑義が残ることもあります。しかし退職して自宅に居る幸手市民が公民館に集まり、生きがいや新たなコミュニケーション作りの場にする等

活性化策には賛成します。今後は結果を検証し見直しも視野に入れながら「市民感覚を忘れることなく」対応することを望み賛成します。



中央公民館  
(中央地区市民センター)

**（議案第27号）  
平成30年度幸手市一般会計予算を可決**

**反対討論**

松田 雅代

予算規模は過去最高を更新。市の増収見込みは幸手中央地区産業団地整備の成果が現れつつあるものと評価するが、予算増額分の資金繰りの多くが基金取り崩しと市債発行の増額で賄われていることは懸念材料。個別には治水対策の進展など評価する事業もあるが、議案第14号の条例改正を説得性が欠くと判断する立場から、係る公

民館館長報酬を含む一般会計予算に反対する。

**賛成討論**

小林 順一

幸手駅西口地区の区画整理事業、東西自由通路、橋上駅舎の建設も市民の皆様の目に日々形として見えてきたことも明るい未来の象徴と考えます。幸手市のウィークポイントである治水問題では特に大中小落・中落流域概略氾濫シミュレーションの予算計上は市民の安心安全の観点から賛同いたします。小中学校のトイレの洋式化予算計上は児童、生徒の学ぶ環境として最良であり、予算に賛成とする。

**反対討論**

大平 泰二

基金残高が32億円から8億円に激減する中、地方債残高(借金)は、145億8737万8千円、これに区画整理と土地開発公社を加えた債務残高は、174億1290万円にもなり、財政を圧迫しています。平成29・30年度の駅舎・東西自由通路および西口土地区画整理事業費の合算額は、40億4897万7千円と膨大なものになり、財政運営をより困難なものにしていきます。計画は見直すべきです。

**賛成討論**

小河原 浩和

幸手駅西口開設や古川橋架け替え事業、中落の浚渫や排水ポンプの修繕、新たに大中落、中落流域での、浸水状況の検証や対策の予算。また、妊娠・出産・子育てに関する総合的な支援、新たな学力調査の実施や外国語指導助手の増員など、限りある財源を適切かつ効果的に配分され、子育てや教育、福祉、防災等、各施策の充実による、「安心・安全で活力あるまち」の実現に向けての予算編成となっている。

**(議案第30号)  
平成30年度幸手市介護保険  
険特別会計予算を可決**

**反対討論**

大山 重隆

幸手市の現状は以下の点で対策が不十分であり、私は反対を致します。①介護調査で、認知症は増え続け、要介護の一番の要因となっている。②独居高齢者・老々介護世帯は幸手市世帯の30%以上で増え続けている。③介護施設入所費用は15万円/月以上も必要である。④いつでも訪問してくれる看

護介護サービスが不十分。⑤民間委託の地域包括支援センターの適正設置、評価に疑問がある。



**人事案件**

教育長

山西 実氏

を任命することに同意しました。



**(平成29年請願第1号)  
市立吉田幼稚園の存続に  
関する件を不採択**

平成29年12月定例会において文教厚生常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていた平成29年請願第1号 市立吉田幼稚園の存続に関する件は、平成29年12月10日、平成30年2月26日および3月6日の3日間にわたり当委員会で審査いたしました。本会議にて、採決の結果、賛成少数により不採択となりました。

**反対討論**

青木 章

市立吉田幼稚園の存続に関する件は、幸手市教育審議会において、吉田地区住民代表や吉田幼稚園保護者代表等含めた20名のメンバーで9回の会議を開き慎重に審議した。結果「存続することが困難である」との結論に至った。また教育委員会では、「廃園することが妥当」とした。しかし、公設民営など最後まで今と違った方法での存続に努力することを強く望むことを付け加え請願には反対とします。

**賛成討論**

中村 孝子

幼稚園過疎の市内東部地区を主な通園区域として、市立吉田幼稚園が開園。近年の少子化、幼稚園状況の変化、財政的理由等により廃止が妥当との方向性にある中、市内唯一の公立であり、環境の良さや、工夫と研究で持続的発展は可能との請願である。教育の基本は公である。私立を認めつつも障がい児受入れ等公立の必要性、環境および地域コミュニティの核等考慮し本請願趣旨は妥当と考える。

**賛成討論**

武藤 壽男

吉田幼稚園のお母さん方を中心として、広々とした園庭と木のぬくもりのある園舎で、自然と共生する中、友達を思いやる幼稚園教育が実践されている、この教育を是非存続して欲しいとする切実な願いが、この請願です。教育基本法では、地方公共団体は、幼児教育の振興に努めなければならない、直接かかわることができるのは、公立幼稚園しか果たし得ません。以上、願意は妥当であり賛成致します。

## 総務常任委員会

**幸手市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例（議案第3号）**

**問** ビラを頒布する場合、選挙管理委員会としての確認方法は。

**答** 特にビラについての事前審査はない。事前に届出ていただいたものに、証紙を貼って頒布するという形になる。

**問** 頒布の方法は。

**答** あくまでも頒布で、散布をすることはできない。頒布とは、街頭演説の際や新聞折り込み等が想定される。



**平成29年度幸手市一般会計補正予算（第5号）（議案第21号）**

**問** ふるさと納税寄付金の減額理由は。

**答** 2月中旬で寄付件数が492件、617万円という状況から、今回補正予算で減額する。

**問** PR方法は。

**答** 過去に寄付をしていただいた方にリマインドのがき、もしくはメールのご通知を差し上げたり、ホームページに掲載しているところである。来年度以降は返礼品の見直し等もあり、新たな方策等を模索していきたい。

**問** 工事請負費の減額理由は。

**答** 第2庁舎全部のエアコン入れ替え工事を進める予定であったが、一部稼働ができる部分があるので、その部分は生かし、減額した次第。

**平成30年度幸手市一般会計予算（議案第27号）**

**問** 市税を前年度比1.1%（7182万円）増と見込んだ理由について。

**答** 個人市民税では、経済状況や雇用情勢などにより定期給与の持ち直し、現金給与総額の穏やかな増加が見られ、法人税については内閣府の景気ウォッチャー調査でも企業の実績は徐々に伸びてきている。また固定資産税においては圏央道の開通により、工業団地の土地評価替えが4.9%プラスなどを総合的に勘案し、1.1%の増を見込んだものである。

**問** 土木負担金の重要河川大中落・中落検討業務委託負担金の内容について。

**答** 大中落、中落の流域概略氾濫シミュレーション業務を歳出予算土木費で計上している。事業費は1千万円になっているが、これを幸手市と久喜市で負担する。久喜市の負担割合は48%で480万円を計上している。

**問** 広報広聴費の中吊り広告掲載

業務委託料の内容は。

**答** 鉄道車内の広告掲載業務委託料とポスターの作製料の2項目である。イメージとしては、窓の上にある曲がっている所の車内窓上広告。平成30年度は、2月13日から3月12日の1カ月間、JRの湘南新宿ラインに掲載予定。



**問** テレビデータ放送事業発信料の内容は。

**答** 地上デジタル放送のデータ放送を活用し、市民の皆様へ幸手市の情報を提供するサービスである。具体的にはテレビ埼玉にチャンネルを合わせて、dボタンを押すとデータ放送が出てきて、市町村の欄で幸手市を選ぶと、幸手市の情報が出るという形である。担当のパソコンにソフトを入れると、タイムリーに反映するので、防災時の通行止めの期間など利用できると考える。

文教厚生常任委員会

幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (議案第4号)

問 幸手市では国民健康保険税が多少上がることになるが、その金額は県が定めたものか。

答 県は各市町村の国保事業費納付金を計算し、その納付金額に合わせて税を計算し、標準的な税率を提示するものである。

幸手市介護保険条例の一部を改正する条例 (議案第8号)

問 基金を取り崩して保険料を抑制するということだが、基金を充てられる期間は、どの程度と見ているのか。

答 第7期に2億2千万円を取り崩し、また第8期にも取り崩して上昇抑制を図り、第9期にも残った分を取り崩したい。

幸手市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (議案第14号)

問 現在の公民館の運用に何か問題があったのか。

答 現在の館長では年齢的に若く、地域の意向をつかみきれない面もあり、市の職員構成としても、主幹級の職員が不足していることもあったことから、退職した校長に公民館長をお願いしたいというものである。

平成29年度幸手市一般会計補正予算 (第5号) (議案第21号)

問 幼稚園費、私立幼稚園就園奨励費補助金773万3千円の減額理由は。

答 当初予算での見込みより、申請が減っていることにより補助金を減額するもので、園児の減少も要因のひとつですが、生活状況に

よって申請の階層があり、年ごとに違いが出ていることから、その点も要因として考えている。

平成30年度幸手市一般会計予算 (議案第27号)

問 運転免許証自主返納者支援事業交付金の内容は。

答 運転免許証を自主返納した高齢者を対象に、タクシードライバー初乗り730円分を10枚、交付する事業である。

問 東部消防組合負担金について、5年後に負担金を5%削減する計画だったが、どのような状況か。

答 負担金の内訳は共通経費、単独経費、特別負担金に分かれている。この内共通経費を、平成30年度から34年度の5年間で、5%削減することになっており、30年度については、1%削減となったものである。

問 LED防犯灯設置工事の内容は。

答 市内各地に設置されている防犯灯について、古い蛍光灯のもの

をLEDに交換する工事で、250基を予定している。

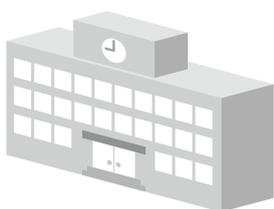
問 教育指導費の学力調査業務委託料の内容は。

答 幸手市統一の学力テストとして、新たに取り組むもので、小学校1年生から6年生までは国語と算数、中学校1、2年生については、国語、数学、英語の3教科を予定しているものである。

平成29年度幸手市一般会計補正予算 (第6号) (議案第37号)

問 国の補正予算に伴い、学校改修工事を前倒しするための補正予算だと思うが、工事時期は早まるのか。

答 基本的には夏休みを利用しての工事になることから、時期が早まることはない。



# 建設経済常任委員会

## 幸手市都市公園条例の一部を改正する条例

(議案第15号)

**問** 幸手市で現状の運動施設率はこの程度なのか。

**答** 千塚公園45・89%、上吉羽中央公園29・36%、幸手総合公園46・28%、産業団地にできた神扇公園が42・80%である。

## 工事請負契約の変更について

(議案第18号)

**問** 古川橋架替工事の工期延長による繰越明許の必要性はあるのか。

**答** 会計年度の基本は単年度が原則だが、今回、工事が年度内に終わらないことが明らかとなったため、工事請負契約の変更をし、繰越明許を行うこととした。

## 平成29年度幸手市一般会計補正予算(第5号)

(議案第21号)

**問** 幸手中央地区産業団地企業誘

致奨励金60万円の削減理由は。

**答** 奨励を受け取れる指定企業の条件は、敷地面積5千㎡以上、建物が1500㎡以上、直接雇用常時15人以上が条件で、平成29年度操業開始予定の3社のうち1社が直接雇用15人に達してないため、指定企業とならなかったため1社分60万円の減額となった。

**問** 木造住宅耐震改修資金補助金の減額の理由は。

**答** 市の補助金が1件当たり20万円、2件分を見越していたが、木造住宅耐震改修資金補助申請は3件あったが、改修までに至らず、現時点で改修がないため減額した。

## 平成29年度幸手市幸手駅西口土地地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)

(議案第26号)

**問** 繰越明許費の理由は。

**答** 道路・宅地整地実施設計事業

については、道路予定区域内に存在する農業用水施設の暗渠の構造の確認に不測の日数を要したため、年度内に完了することが見込めなくなつたため。

調整池実施設計事業については、現地のボーリング調査による土質が近傍地の土質データとの差異が生じ不測の日数を要したため年度内に完了することが見込めなかった。繰越明許費とすることになった。

## 平成30年度幸手市一般会計予算(議案第27号)

**問** 多面的機能支援事業補助金の内容は。

**答** 農業農村の多面的機能を支える共同活動を支援するもので、水路や農道等の管理を地域で支え、基本的には農村地域で行う活動、これに対して国・県・市で補助していくもの。

**問** 県・市共同施行産業団地整備事業負担金の期間と合計額は。

**答** 県との協定により、5年間、5回に分けてかかった事業費の3%相当額を市が負担するもので、

今回、平成30年の支払が3回目となり、3回目までの合計は2億3221万5千円となる。

**問** 大中落・中落流域概略氾濫シミュレーションの内容は。

**答** 大中落と中落の流域についてはたびたび台風等で水害がおきており、特に大中落は久喜市、旧鷲宮町の区域からの流出量による浸水状況をシミュレーションし、対策を考えていくもの。

## 平成30年度幸手市幸手駅西口土地地区画整理事業特別会計予算(議案第33号)

**問** 駅西口開通関連工事1千万円の内容は。

**答** 平成31年3月の西口の開設に伴い、駅前広場から幸手停車場線9メートルの区画道路を通つて、県道幸手久喜線までの安全でスムーズな通行を確保するため、区画線や注意喚起などの路面標示の工事、既存道路とのすりつけ工事、仮囲いなどの工事の予定。

# 市政に対する

# 一般質問

今定例会では、10人の議員が2月22日、23日、26日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

**一般質問**とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

## 小林啓子議員

- 「祖父母手帳」の作成について
- 乳幼児の家庭内事故について
- 紙おむつの処分について

## 大山重隆議員

- 幸手の高齢者をめぐる現状・課題、その対策について（平成29年度の調査をもとに）
- 地域包括支援センターについて

## 小林順一議員

- 小中学校の長寿命化の推進について
- 無線連動警報器の設置推進について

## 大平泰二議員

- 九郎右工門集会所補助金不正請求
- 中島用悪水路土地改良区補助金問題
- 国保会計広域化について

## 本田謡子議員

- 避難所開設訓練について
- 福祉避難所について

## 青木章議員

- 駅舎と自由通路について
- 駅西口駅広と停車場線等について
- 親水公園等について

## 宮杉勝男議員

- 積雪対応の件
- 地域包括ケアシステムについて

## 松田雅代議員

- 幸手市の新年度組織改革について
- 幸手市の「立地適正化計画」への取り組みについて
- 幸手市デマンド交通について
- 幸手市の農業を元気にする農業振興対策について

## 木村治夫議員

- 市民に対する行政サービスについて
- 幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 平成30年度一般会計予算について

## 武藤壽男議員

- 道路の補修整備について
- インフラ施設等の総合管理計画について

## 3月定例会 会期日程

- 2月21日（本会議）
  - ・ 開会・会期の決定・報告事項
- 2月22日・23日・26日（本会議）
  - ・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 3月2日（本会議）
  - ・ 市政に対する一般質問
- 3月7日（委員会）
  - ・ 議案に対する質疑
- 2月26日・3月5日・6日（委員会）
  - ・ 議案の委員会付託
- 3月7日（委員会）
  - ・ 文教厚生常任委員会
- 3月9日・12日（委員会）
  - ・ 総務常任委員会
- 3月20日（本会議）
  - ・ 建設経済常任委員会
- ・ 委員長報告、質疑、討論、採決
- ・ 閉会

## 3月定例会

傍聴者	
39人の方が傍聴されました。	
<b>議会インターネット中継のアクセス件数</b> インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。	
1月	399件
2月	1810件
3月	996件
の方が視聴されました。	

**お詫びと訂正**  
 市議会だよりさって2月号16頁の議案の結果、議案第79号の松田雅代議員の採決の結果に誤りがありました。お詫びして訂正します。  
 （誤）○賛成 （正）×反対

「祖父母手帳の」の作成は



小林啓子議員

**Q** 平成28年第2回定例議会において、「祖父母手帳」

作成について一般質問した。

その後の進捗状況を伺う。

市民への情報提供、掲載方法等の周知状況について伺う。

**A** 先進自治体の事例の情報収集をし、祖父母世代や子育て世代の方々から意見を聞

きながら、内容を検討し、今年度中の発行を考えている。

情報提供等については、子育て

総合窓口での配布を予定し、

また、各公民館等でも配布した

い。ホームページにより、ダウン

ロードできるように考えてい

る。

「じいじ、ばあばスタートブック」として、A5版サイズの大ささで、3月中に配布できるようにしたい。

(健康福祉部長)



高齢者の現状・課題と地域包括支援センター



大山重隆議員

**Q** 平成29年の高齢者をめぐる現状・課題その対策への

調査によると、独居高齢者・

老老介護世帯の急増が挙げられ

る。その課題・対策は。また介

護行政に中心的役割を果たす

「地域包括支援センター」につ

いて。その相談業務・介護事業

所の選択に関して公正・中立性

への指導は。センターは五年前

まで、東は市の直営、西は民間委託であったが、東西センターとも民間委託へ変更となったがその理由は。民間のセンター運営(市から五千万)を市民へ公示すべきだが。

**A** 見守り体制の強化やサー

ビス量の増加等が課題で

あり、対策として支え合いの地

域社会づくりを進め、介護保険

制度を円滑に推進する。地域包括支援センターの公正・中立性

を保つために、運営状況の確認や実績報告等により年間を通じて指導を行っている。東西地域包括支援センターとも民間委託となった理由は、専門職を安定して確保するためである。地域包括支援センターを民間委託していることに対する市民への周知は、今後検討する。

(健康福祉部長)

## 小中学校の長寿命化の推進について



小林順一議員

**Q** 文科省は、2019年から、長寿命化への取り組みに対する優遇制度を導入する方針を固めたが、市内小中学校において、築45年を経過している学校は何校あるのか伺う。

文科省は、長寿命化計画の作成を呼びかけてきたが、市はその呼びかけに対して提出したのか伺う。

**A** 建築後45年を経過している校舎を有する学校は2校あるが、

既に耐震補強工事や大規模改修工事を実施した。また文部科学省への計画書提



出は、平成32年度までに提出することとされているので、来年度より市全体で策定に着手する各公共施設の個別計画において検討し、速やかに提出する。なお市としての施策については、昨年度に策定した幸手市公共施設等総合管理計画を受けて、学校施設の長寿命化について個別計画の中で検討する。

(教育次長)

## 補助金不正請求をなぜ詐欺事件としないのか



大平泰二議員

**Q** 中島用悪水路土地改良区の工事契約書事業名上にシールを貼り、件名を書き変えた公文書偽造や、国・県からの補助金を工事実績報告書に記入しないで、補助金を騙して請求することは詐欺行為である。市はこれらの行為を詐欺と認めないで「過多の支払い」と頑に言いきっているのは何故か。

中島用悪水路土地改良区の工事契約書事業名上にシールを貼り、件名を書き変えた公文書偽造や、国・県からの補助金を工事実績報告書に記入しないで、補助金を騙して請求することは詐欺行為である。市はこれらの行為を詐欺と認めないで「過多の支払い」と頑に言いきっているのは何故か。

**A** 補助金に関する調査等を行った結果、補助対象となつた事業はいずれも確実に執行され、その請負費が全額支払われていること、組織として補助金の不正な蓄財や金品の隠蔽等は確認されていない事実を勘案すると、事務処理にミスがあったとしても、そこに犯罪があると思料するには至らず、調査を終えた現段階において、刑事訴訟法に基づく告発をすることは考えていない。

補助金に関する調査等を行った結果、補助対象となつた事業はいずれも確実に執行され、その請負費が全額支払われていること、組織として補助金の不正な蓄財や金品の隠蔽等は確認されていない事実を勘案すると、事務処理にミスがあったとしても、そこに犯罪があると思料するには至らず、調査を終えた現段階において、刑事訴訟法に基づく告発をすることは考えていない。

(建設経済部長)



## 福祉避難所は活かされるのか



本田謡子議員

**Q** 福祉避難所とは、災害時に特別な支援が必要な高齢者や障がい者、妊婦などに向けて設けられる二次避難所である。市で福祉避難所と指定した「なのはなの里」「さくらの里」「老人福祉センター」の避難想定収容人数とこれからの対策を伺う。また、福祉避難所開設訓練が必要と思うが、市の考えを

「なのはなの里」が30人、「さくらの里」が30人、「老人福祉センター」が50人となっている。今後、民間法人が管理する施設を新たに指定する方向で調整を行っている。

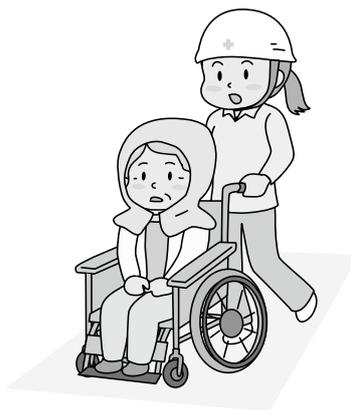
**A** 現在、市が指定する福祉避難所の想定収容人数は、

また、避難所開設訓練については、市の防災訓練と連携し実施したいと考えているが、その

伺う。

ため、まず、各指定施設職員の福祉避難所の役割の認知度を高めたいうえで、先進事例を参考に開設訓練を実施したい。

(健康福祉部長)



## 駅前保育ステーション新設について



青木 章議員

**Q** 平成31年3月末までに、幸手駅舎、東西自由通路および駅西口広場等がオープンいたします。そこで、駅前広場付近に「保育ステーション」を新設してほしいと思います。朝、通勤時に駅前保育ステーションで子どもを預かっていただき保育園に送迎。夕方、帰宅時に駅前

で我が子を返してもらう等、

とても便利な施設となります。また、駅前保育ステーションの日中空いている時間帯は、一時預り保育も出来る施設として早期に設置を望みますが、いかがでしょうか。

**A** 保育ステーションの場所は、東口側エスカレーター下のスペースを始め、駅前交番裏の土地などを検討します。

平成31年度中に建設し、平成

32年度に開設する予定です。

通勤の際に利用する方が使いやすい施設となるよう工夫していきたいと思えます。

また、日中の時間帯は、保育所を利用していない子どもを対象とした一時預かりを実施し、施設を有効に活用したいと考えます。

(市長、健康福祉部長)

積雪対応の件



宮杉勝男議員

**Q**

1月22日から23日にかけて雪が降り続き、23cmの積雪があった。さらに、日陰の部分では氷となって危険な状態が数日続いた。そこで次の事を伺う。①積雪に対して市で行った対応を伺う。②市民から寄せられた要望があれば内容を伺う。③積雪による交通事故および通学時の転倒事故の状況を伺う。

**A**

市民への注意喚起や坂道への融雪剤の散布、職員への待機、公共施設の除雪などを行った。道路凍結箇所に関する要望が7件あった。積雪による交通事故件数は人

身事故が3件、物損事故が19件で、通学時は無かった。圏央道側道などの幹線道路で雪が解けない箇所については、建設機械による除雪を状況に応じて実施する。雪が止んだあとも対応できるように、災害対策班の出勤体制について見直していきたい。(市民生活部長・建設経済部長)

地域公共交通の利便性向上と将来構想は



松田雅代議員

**Q**

現在、幸手市が運行する地域公共交通の幸手市デマンド交通は、運行当初より予約が取れない等、市民からの利便性向上の要望が絶えない。さらに、今後の高齢者の免許返納者の増加、国が進める交通政策に対応した地域公共交通網の形成、平成31年3月の幸手駅西口開設に合わせた交通手段の広域

**A**

的確保など、課題協議は急務となっている。現行デマンド交通の改善策、および将来の公共交通網形成にどう取り組んでいくのか伺う。利便性の向上については乗合率の向上に努めていく。乗合率の向上を高めるにあたり、利用者のデータから効率的な運行を行なうための方法として、便別の時間をまたいだ運行を可能にするシステム設定変

更や、乗降にかかる時間の設定変更等を検討していく。また、地域公共交通の将来構想としてはタクシーの活用も含め、今後の幸手市のあるべき公共交通体系というものを幸手市地域公共交通会議等を活用し、検討していく。(市民生活部長)

ウェルス幸手施設へのATM設置を問う



木村治夫議員

**Q** 平成28年度主要施策成果表によると、天神の湯利用者状況は、9万6478人である。そのほか健康診断・会議等含めると年間利用者数は、市人口の約3倍近くと思われる。

施設付近にはアスカル幸手、圏央道幸手IC、幸手中央産業団地等があり、今後ますます市の経済活動が活発となる。市民の価値観やライフスタイルの多様化に伴い、そして高齢者に寄り添ったまち、子育て世代の支援等を考えると、行政が主体となつてATM・郵便ポスト設置をしてはいかかが伺う。

**A** ATM設置については、金融機関との調整が必要となり、金融機関においても利用頻度や維持管理経費が勘案され設置されるものであろうと推察される。

現状においては、設置の要望について把握はしていないが、ポストを含め、幸手中央地区産業団地の操業が本格化される要因などもあることから、要望等が多くなれば、関係機関との調整を図っていきたいと考える。

(総務部長)



インフラ施設の総合管理計画は



武藤寿男議員

**Q** 建物系の公共施設の管理計画は、平成29年度から40年間の維持管理に6百億円掛かるところ、施設の統廃合などにより、2/3の4百億円に縮減し、一年間に10億円の更新、修繕費用にしようとして個別計画を遅ればせながら立てるところである。

一方、人口減少になっても、

道路、橋梁や上下水道などの、インフラ施設は、維持管理費が必要であり、老朽化も進むことから、更に多額の費用がかかることになる。財政の厳しい今後を見通し、どのように対応されるのか伺う。

**A** 公共施設等総合管理計画の中で、インフラ系公共施設に関する基本方針を2つ定めている。

1つ目は、事後保全型から予

防保全型の維持管理へ転換を図り、ライフサイクルコストの縮減をめざす。

2つ目は、インフラ未普及地区や市民ニーズへの対応を段階的に実施するとともに、安全で安心できる社会基盤となるように効率的・効果的な整備を推進する。

この基本方針を踏まえて、財政負担の平準化を図れるように個別施設計画を策定していきたい。

(総務部長)

## 議会運営委員会行政視察

議会運営委員会では、平成30年2月1日(木)・2日(金)に先進地視察を行いました。今後これらを精査・研究し、今後の議会運営へ取り組んでいきます。

福島県郡山市では、「震災時における議会の対応」、「議会改革の取組み」、「議会運営」などについて視察を行いました。委員からは、「電子採決について」や「地震直後から議会災害対策本部を設置するまでの経緯について」などの質疑と活発な意見交換が行われました。



■郡山市

福島県会津若松市では、「議会改革の取組み」について視察を行いました。委員からは、「議員の意識改革について」や「議員間討議の進め方について」などの質疑と活発な意見交換が行われました。



■会津若松市

## 幸手駅の橋上化や自由通路、駅西口土地区画整理事業の現場視察

平成30年3月2日(金)に議員全員で、各工事の進捗状況について説明を受け、現場を視察しました。



幸手駅西口の整備風景



幸手駅の工事状況

### 議会広報編集委員

委員長 藤沼 勝  
副委員長 宮本 泰  
委員 青木 重  
委員 大木 治  
委員 小本 順  
委員 松田 諤  
委員 田代 雅  
委員 貢 勇  
委員 章 二  
委員 隆 夫  
委員 一 子

### 編集後記

県営幸手権現堂公園桜堤にて、第88回桜まつりが盛大に開催され、県内外はもとより外国からの観光のお客様が大勢おみえになりました。“百花繚乱”の堤も、今は緑一色であります。春から夏へと季節が感じられるさわやかな五月晴れのもと、地味豊かな水田には「コシヒカリ」の田植えが真っ盛りです。日光街道21の宿中、桜と6宿場のまちとして歴史、文化、産業、自然を融合させた街、「幸手」のますますの繁栄を願っています。

